

世田谷区新型コロナウイルス感染症陽性者における 後遺症に関する調査 報告書（概要版）

【調査の目的】

世田谷区における新型コロナウイルス感染症の陽性者に対する今後の区の施策をより効果的なものとするため、本調査を実施することとした。

【調査対象】

世田谷保健所に提出された発生届でかつ当保健所にて管理している者（令和3年4月15日現在）8,959名（死亡者を除く）

【調査期間】

令和3年7月16日から令和3年8月6日

【調査方法】

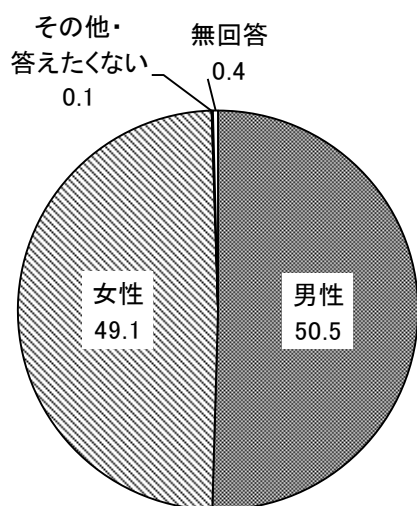
郵送による配布、郵送・インターネット回収

【回収状況】

	回収数	有効回収数	有効回収率
郵送回答分	2,446 件	2,431 件	27.1%
インターネット回答分	1,307 件	1,279 件	14.3%
合計	3,753 件	3,710 件	41.4%

【回答者の属性】

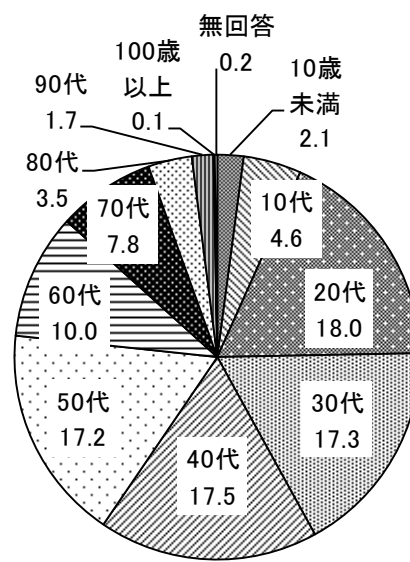
(1) 性別



n= 3,710

(%)

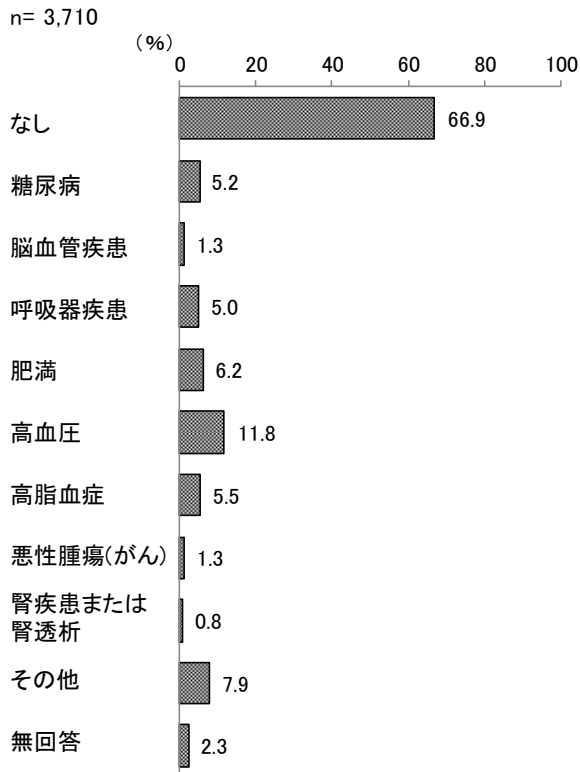
(2) 年齢



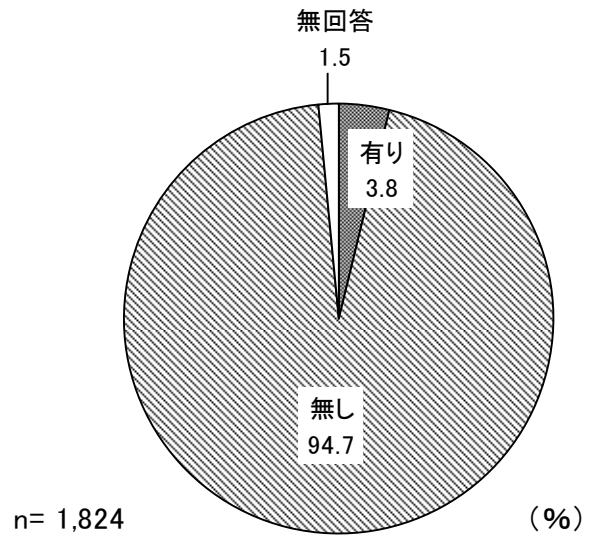
n= 3,710

(%)

(3) 基礎疾患



(4) 妊娠の有無



【概要版の見方】

回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。

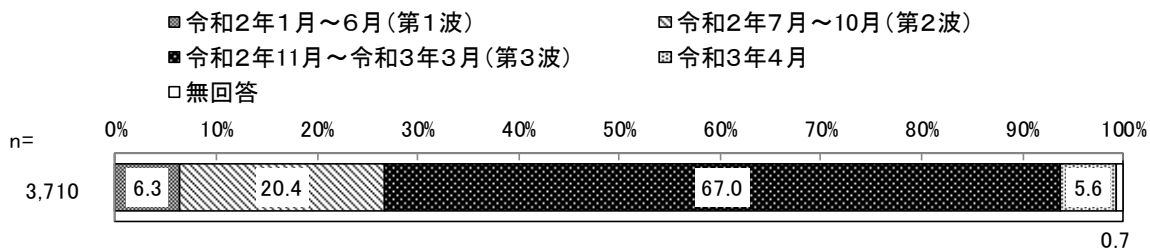
調査結果を図表で表示しているもののうち、グラフ以外の表で網掛けをしているものは、最も高い割合のものを示している。

クロス集計の分析の軸（＝表側）で、基数が30を下回るものについては、調査数が少ないため参考として図示するに留め、文中では言及をしない。（例：「性別」の「その他・答えたくない」等）

1 新型コロナウイルス感染症の療養について

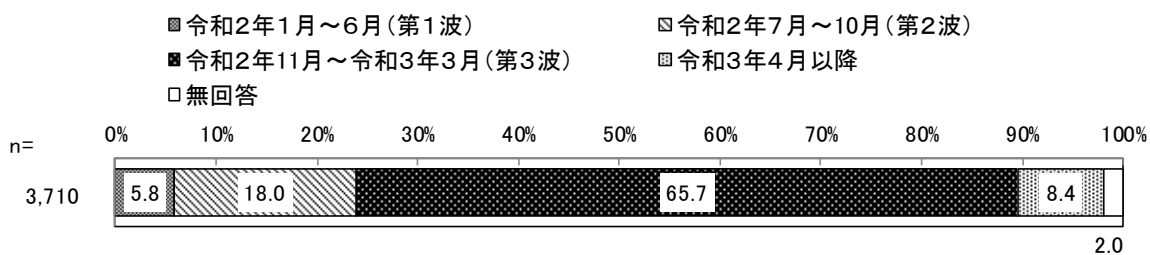
(1) 陽性診断時期

● 陽性診断時期は、「令和2年11月～令和3年3月(第3波)」が67.0%で最も高く、次いで「令和2年7月～10月(第2波)」が20.4%となっている。



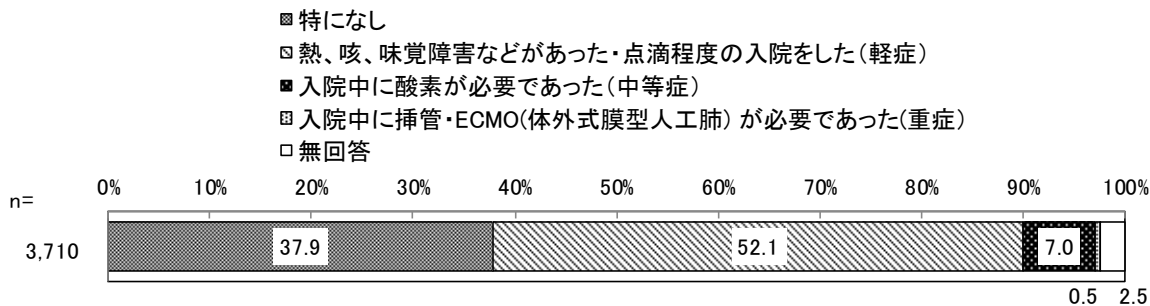
(2) 退院、または療養終了時期

● 退院、または療養終了時期は、「令和2年11月～令和3年3月(第3波)」が65.7%で最も高く、次いで「令和2年7月～10月(第2波)」が18.0%となっている。



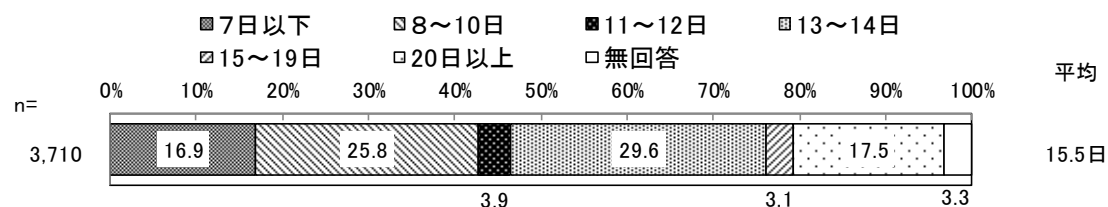
(3) 療養中の症状

● 療養中の症状は、「熱、咳、味覚障害などがあつた・点滴程度の入院をした」が52.1%で最も高く、次いで「特になし」が37.9%、「入院中に酸素が必要であつた」が7.0%となっている。



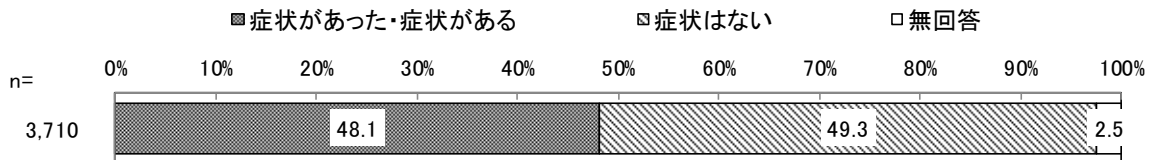
(4) 療養期間

● 療養期間は、平均15.5日となっている。回答割合で見ると「13～14日」が29.6%で最も高く、次いで「8～10日」が25.8%となっている。

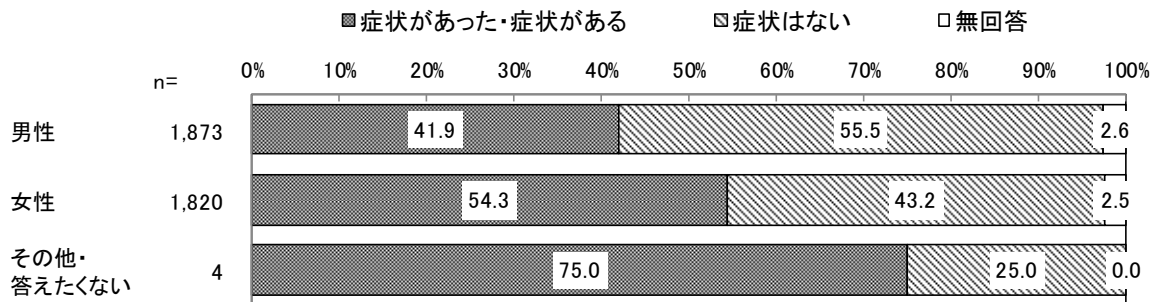


(5) 退院日、または療養終了日以降の症状（後遺症の有無）

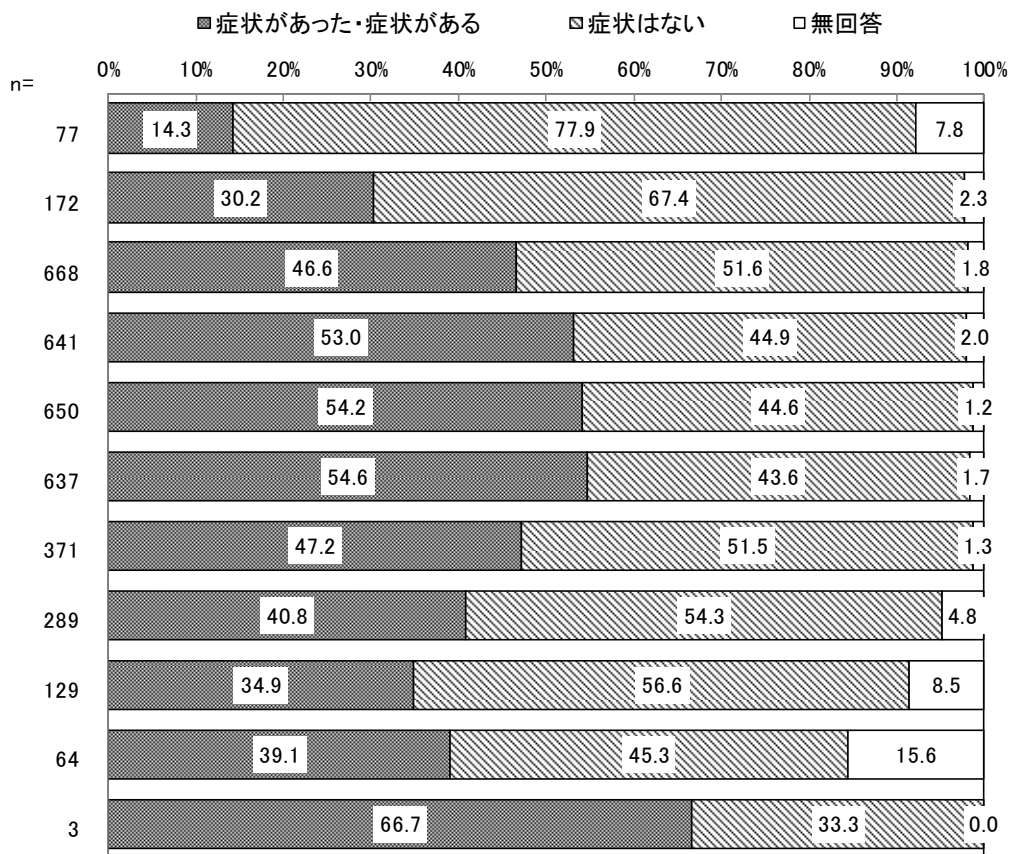
- 退院日、または療養終了日以降の症状は、「症状があった・症状がある」が48.1%、「症状はない」が49.3%となっている。
- 性別で見ると、「症状があった・症状がある」は女性(54.3%)が男性(41.9%)よりも12.4ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「症状があった・症状がある」は30代(53.0%)、40代(54.2%)、50代(54.6%)が半数以上と高くなっている。
- 基礎疾患の有無別で見ると、「症状があった・症状がある」はあり(50.4%)がなし(46.8%)よりも3.6ポイント高くなっている。
- 陽性診断の時期別で見ると、「症状があった・症状がある」に大きな差異はみられない。
- 療養中の症状別で見ると、「症状があった・症状がある」は特になし(27.5%)が3割未満となっている一方、軽症以上では6割以上と高くなっている。



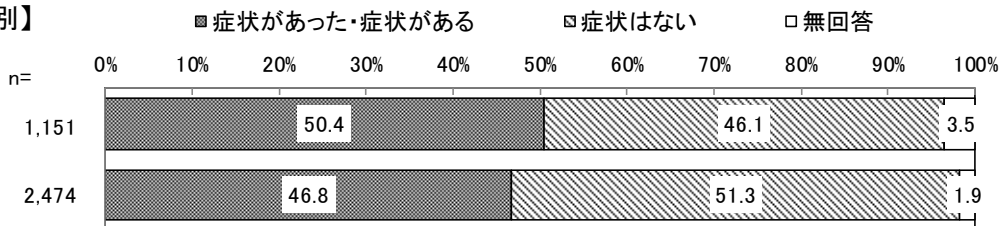
【性別】



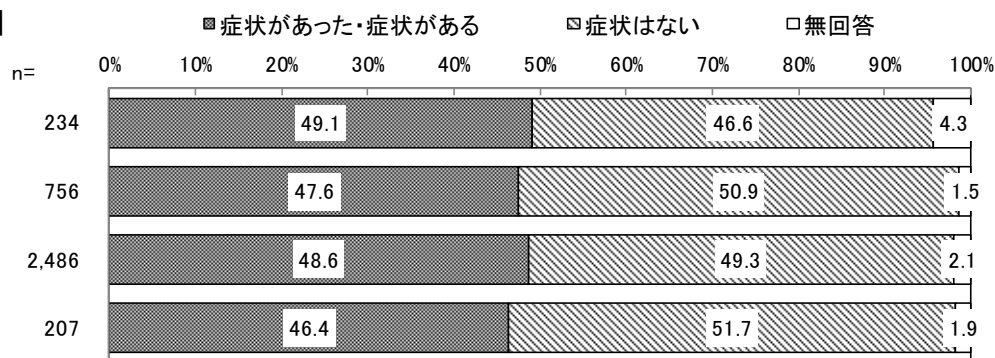
【年齢別】



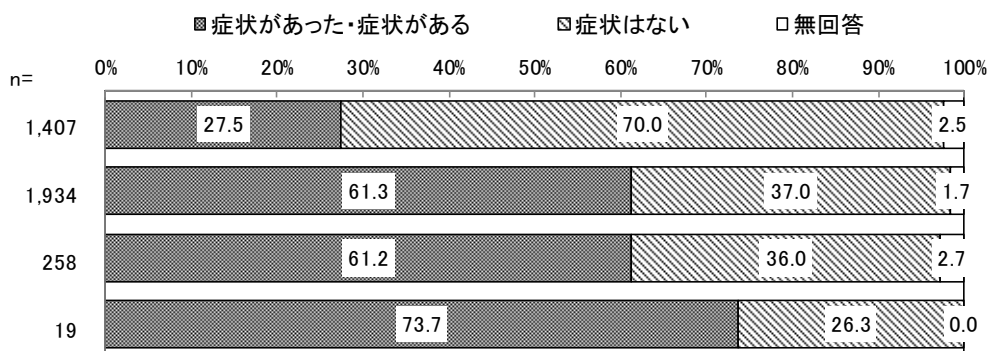
【基礎疾患の有無別】



【陽性診断時期別】



【療養中の症状別】

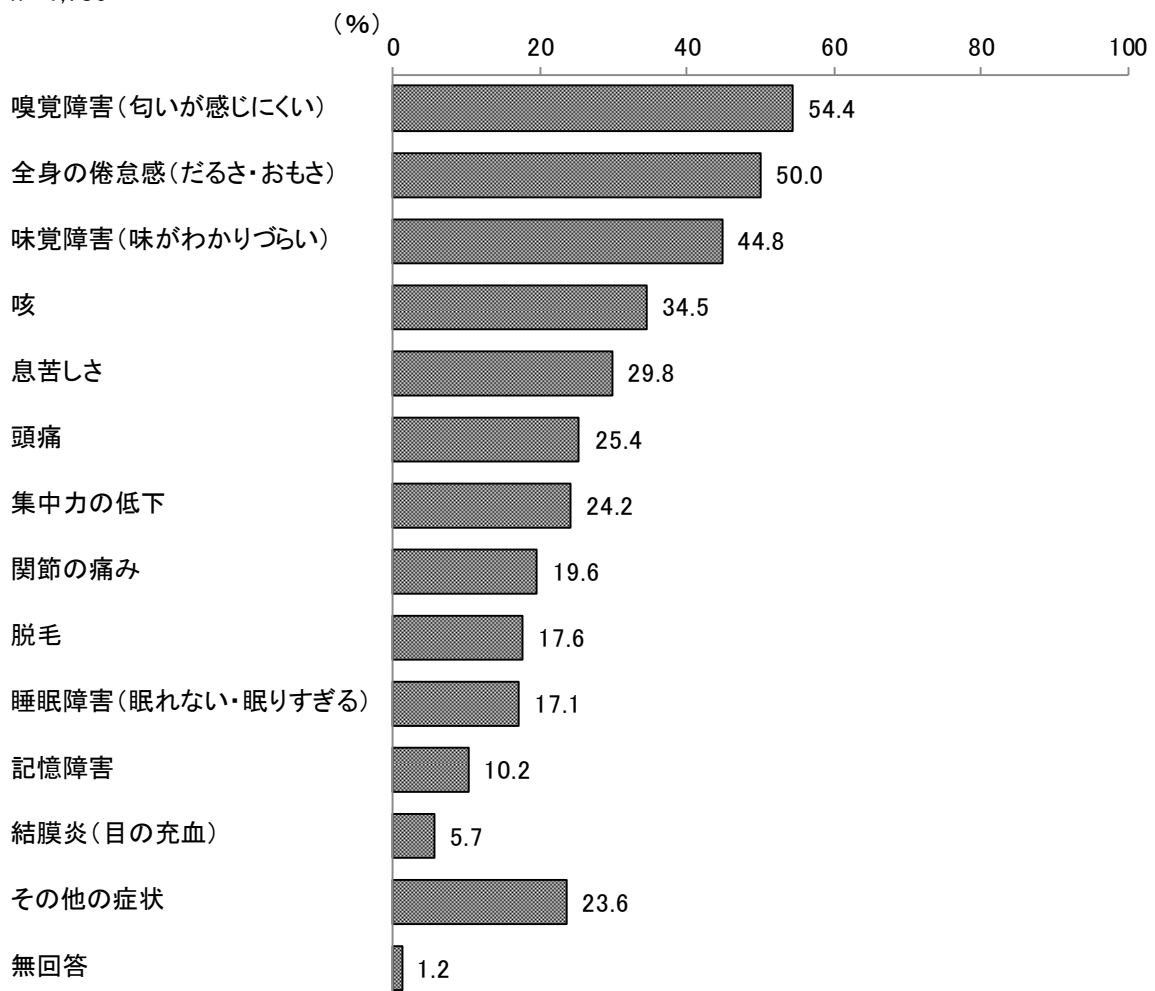


2 退院日、または療養終了日以降にあった・ある症状について

(1) 退院日、または療養終了日以降にあった・ある症状

- 退院日、または療養終了日以降にあった・ある症状は、「嗅覚障害(匂いが感じにくい)」が54.4%で最も高く、次いで「全身の倦怠感(だるさ・おもさ)」が50.0%、「味覚障害(味がわかりづらい)」が44.8%となっている。
- 性別でみると、女性が男性を上回っている症状が多く、「嗅覚障害(匂いが感じにくい)」は女性(59.6%)が男性(47.5%)よりも12.1ポイント高くなっている。「味覚障害(味がわかりづらい)」も女性(49.3%)が男性(39.1%)よりも10.2ポイント高くなっている。
- 年齢別でみると、「嗅覚障害(匂いが感じにくい)」は10代から30代で6割以上と高く、「味覚障害(味がわかりづらい)」も10代から30代で5割以上と高くなっている。一方、「全身の倦怠感(だるさ・おもさ)」は40代から80代で5割以上と高くなっている。
- 基礎疾患の有無別でみると、「嗅覚障害(匂いが感じにくい)」はなし(62.6%)があり(37.9%)よりも24.7ポイント、「味覚障害(味がわかりづらい)」もなし(50.1%)があり(33.4%)よりも16.7ポイント高くなっている。一方、「息苦しさ」はあり(37.1%)がなし(25.9%)よりも11.2ポイント高くなっている。
- 陽性診断の時期別でみると、「嗅覚障害(匂いが感じにくい)」は第2波(58.6%)、第3波(56.3%)が5割以上と高くなっている。一方、「全身の倦怠感(だるさ・おもさ)」は第1波(61.7%)、その他(61.5%)が6割以上と高くなっている。

n = 1,786



【性別／年齢別／基礎疾患の有無別／陽性診断時期別】

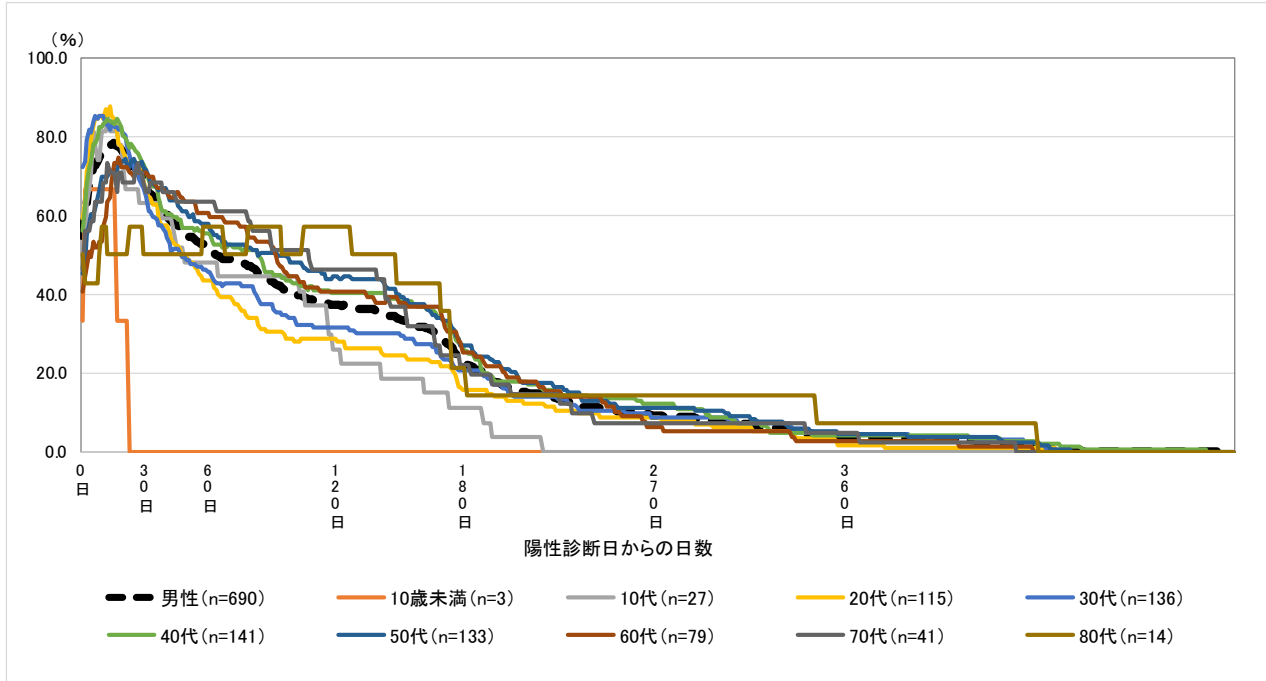
単位：%

区分		調査数（件）	嗅覚障害（匂いが感じにくい）	全身の倦怠感（だるさ・おもさ）	味覚障害（味がわかりづらい）	咳	息苦しさ	頭痛	集中力の低下	関節の痛み	脱毛	睡眠障害（眠れない・眠りすぎる）	記憶障害	結膜炎（目の充血）	その他の症状	無回答
性別	男性	785	47.5	49.8	39.1	32.5	30.6	20.8	25.6	17.8	12.5	14.0	9.9	4.2	21.3	1.7
	女性	988	59.6	50.2	49.3	36.3	29.3	28.8	23.2	21.0	21.5	19.4	10.3	6.7	25.5	0.9
	その他・答えたくない	3	66.7	-	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-
年齢別	10歳未満	11	27.3	18.2	9.1	45.5	18.2	-	18.2	9.1	-	-	-	-	18.2	9.1
	10代	52	75.0	28.8	61.5	19.2	13.5	21.2	15.4	15.4	13.5	11.5	7.7	5.8	19.2	-
	20代	311	75.9	42.1	57.6	28.9	20.3	22.8	19.3	16.4	10.0	12.9	5.8	3.2	12.2	0.3
	30代	340	67.1	48.2	55.9	30.0	26.5	29.7	23.2	18.5	11.8	14.7	9.4	2.9	16.8	1.2
	40代	352	53.4	53.7	42.3	41.5	36.4	27.6	29.3	22.4	17.9	15.1	9.7	3.7	27.0	1.7
	50代	348	47.1	51.7	40.2	39.1	33.3	26.4	23.3	21.8	23.9	19.5	12.1	7.5	27.6	1.4
	60代	175	34.3	57.1	31.4	36.0	30.9	17.1	22.9	15.4	24.6	18.9	7.4	6.9	29.7	1.7
	70代	118	32.2	65.3	33.1	36.4	44.9	28.8	35.6	25.4	33.1	33.9	21.2	14.4	28.8	0.8
	80代	45	26.7	57.8	26.7	42.2	35.6	28.9	33.3	22.2	17.8	28.9	28.9	17.8	28.9	2.2
	90代	25	-	20.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0	8.0	4.0	4.0	8.0	8.0	84.0	-
100歳以上	2	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	
基礎疾患の有無別	あり	580	37.9	56.0	33.4	36.9	37.1	24.8	26.9	20.7	23.6	21.7	13.8	9.1	30.5	1.0
	なし	1,158	62.6	46.7	50.1	33.0	25.9	24.8	22.6	18.4	14.4	14.3	8.0	3.6	19.8	1.2
陽性診断時期別	令和2年1月～6月（第1波）	115	36.5	61.7	36.5	34.8	41.7	32.2	36.5	25.2	31.3	25.2	20.9	7.0	28.7	0.9
	令和2年7月～10月（第2波）	360	58.6	47.2	46.7	27.2	25.8	21.4	19.7	17.2	17.5	15.8	8.9	4.7	22.2	1.9
	令和2年11月～令和3年3月（第3波）	1,207	56.3	48.8	46.0	35.5	29.6	25.9	24.0	20.3	16.7	16.5	9.6	6.0	23.8	1.1
	令和3年4月（その他）	96	38.5	61.5	36.5	50.0	34.4	26.0	30.2	12.5	14.6	20.8	10.4	3.1	22.9	-

(2) 一定期間経過後の後遺症の保有率

- 一定期間経過後の後遺症の保有率は、男性では「30日」時点が7割近くと高くなっている。男性を年齢別でみると、「0日」時点は30代の保有率が7割を超えて高くなっているが、「30日」時点では、30代の保有率が6割台半ばまで下がり、40代から60代の保有率が7割以上まで上がっている。「30日」以降は、どの年代の保有率も低くなる傾向にあるが、40代から70代の保有率は、「120日」時点でも4割以上と高くなっている。
- 女性では「30日」時点が6割台半ばと高くなっている。女性を年齢別でみると、「0日」時点は20代の保有率が7割近く、30代の保有率が6割台半ばと他の年齢と比較して高い傾向にある。「30日」時点では、20代、30代の保有率はやや下がる傾向にあるが、40代から70代の保有率は「0日」時点から上がっている。また、女性においても「30日」以降は、どの年代の保有率も低くなる傾向にあるが、40代から70代の保有率は、「120日」時点でも4割以上と高くなっている。

【男性・年齢別】

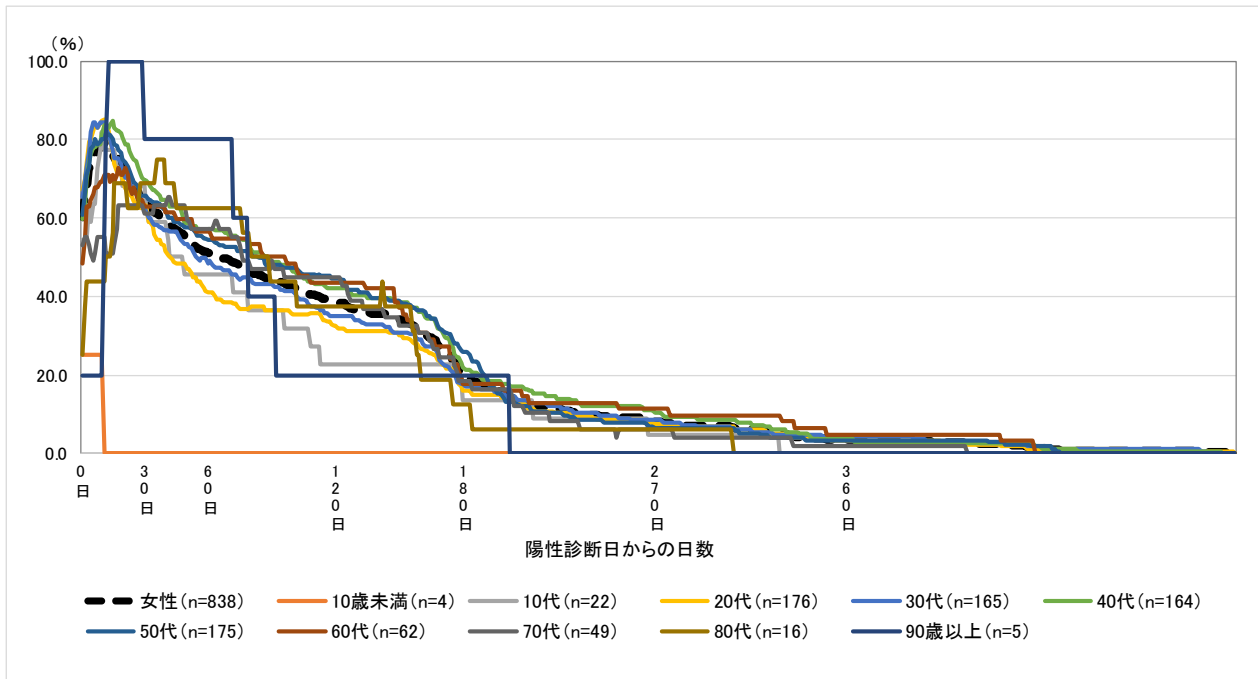


(上段:実数、下段:%)

	0日	30日	60日	120日	180日	270日	360日
男性 (n=690)	379 54.9	467 67.7	359 52.0	257 37.2	153 22.2	64 9.3	25 3.6
10歳未満 (n=3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10代 (n=27)	14 51.9	17 63.0	13 48.1	7 25.9	3 11.1	0 0.0	0 0.0
20代 (n=115)	68 59.1	76 66.1	50 43.5	32 27.8	18 15.7	10 8.7	2 1.7
30代 (n=136)	98 72.1	88 64.7	62 45.6	43 31.6	28 20.6	12 8.8	6 4.4
40代 (n=141)	79 56.0	101 71.6	78 55.3	57 40.4	36 25.5	17 12.1	6 4.3
50代 (n=133)	60 45.1	95 71.4	75 59.5	59 44.4	36 27.1	15 11.3	6 4.5
60代 (n=79)	32 40.5	56 70.9	47 59.5	32 40.5	20 25.3	5 6.3	2 2.5
70代 (n=41)	19 46.3	27 65.9	26 63.4	19 46.3	9 22.0	3 7.3	2 4.9
80代 (n=14)	7 50.0	7 50.0	8 57.1	8 57.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1

(注) 90歳以上は該当者がいなかったため、掲載をしない。

【女性・年齢別】



(上段:実数、下段:%)

	0日	30日	60日	120日	180日	270日	360日
女性(n=838)	504 60.1	540 64.4	429 51.2	322 38.4	162 19.3	67 8.0	29 3.5
10歳未満(n=4)	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10代(n=22)	12 54.5	14 63.6	10 45.5	5 22.7	3 13.6	1 4.5	0 0.0
20代(n=176)	118 67.0	111 63.1	72 40.9	56 31.8	28 15.9	13 7.4	6 3.4
30代(n=165)	108 65.5	102 61.8	81 49.1	58 35.2	28 17.0	14 8.5	7 4.2
40代(n=164)	98 59.8	114 69.5	94 57.3	69 42.1	35 21.3	17 10.4	6 3.7
50代(n=175)	106 60.6	115 65.7	95 54.3	78 44.6	45 25.7	11 6.3	6 3.4
60代(n=62)	30 48.4	39 62.9	35 56.5	27 43.5	11 17.7	7 11.3	3 4.8
70代(n=49)	26 53.1	30 61.2	28 57.1	22 44.9	9 18.4	3 6.1	1 2.0
80代(n=16)	4 25.0	11 68.8	10 62.5	6 37.5	2 12.5	1 6.3	0 0.0
90歳以上(n=5)	1 20.0	4 80.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

(注) 一定期間経過後の後遺症の保有率は、「退院日、または療養終了日以降の症状」で「症状があった・ある」と回答し、「退院日、または療養終了日以降にあった・ある症状」で症状の開始日・終了日の両方を記入していた者の結果をもとに、算出した。

(3) 3か月以上、日常生活に支障がある症状

- 3か月以上、日常生活に支障がある症状を性・年齢別で見ると、「嗅覚障害(匂いが感じにくい)」は、男女ともに多くの年代で3か月以上、日常生活に支障がある割合が高くなっている。また、「全身の倦怠感(だるさ・おもさ)」は女性50代が4割近くと高くなっている。

単位: %

		n	全身の倦怠感(だるさ・おもさ)	頭痛	結膜炎(目の充血)	嗅覚障害(匂いが感じにくい)	味覚障害(味がわかりづらい)	咳	息苦しさ	関節の痛み	集中力の低下	記憶障害	睡眠障害(眠れずすぎる)	脱毛
全体		346	28.0	13.0	2.3	38.7	21.7	6.6	17.6	7.2	20.5	8.7	18.5	6.1
男性	10歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10代	5	-	20.0	-	60.0	40.0	-	-	-	40.0	20.0	-	-
	20代	21	4.8	4.8	-	61.9	28.6	4.8	14.3	-	33.3	9.5	14.3	9.5
	30代	25	24.0	4.0	-	56.0	40.0	4.0	20.0	-	16.0	16.0	12.0	8.0
	40代	41	36.6	7.3	-	41.5	17.1	7.3	34.1	2.4	29.3	9.8	12.2	2.4
	50代	29	41.4	17.2	3.4	17.2	3.4	3.4	24.1	24.1	24.1	6.9	31.0	6.9
	60代	13	30.8	7.7	15.4	-	-	7.7	61.5	15.4	15.4	-	23.1	-
	70代	8	37.5	-	-	25.0	12.5	-	37.5	25.0	25.0	25.0	50.0	-
	80代	6	33.3	-	-	50.0	-	-	-	-	16.7	-	-	-
	90歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	10歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10代	4	25.0	25.0	-	25.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-
	20代	38	18.4	23.7	-	55.3	28.9	-	13.2	2.6	7.9	2.6	15.8	5.3
	30代	43	34.9	20.9	4.7	37.2	14.0	4.7	11.6	4.7	14.0	9.3	25.6	7.0
	40代	45	15.6	15.6	-	37.8	28.9	11.1	6.7	4.4	28.9	8.9	11.1	4.4
	50代	46	37.0	13.0	4.3	34.8	21.7	15.2	13.0	8.7	19.6	10.9	21.7	10.9
	60代	8	12.5	12.5	12.5	50.0	37.5	12.5	-	-	-	-	12.5	-
	70代	9	33.3	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	-	22.2	11.1
	80代	3	66.7	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-
	90歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

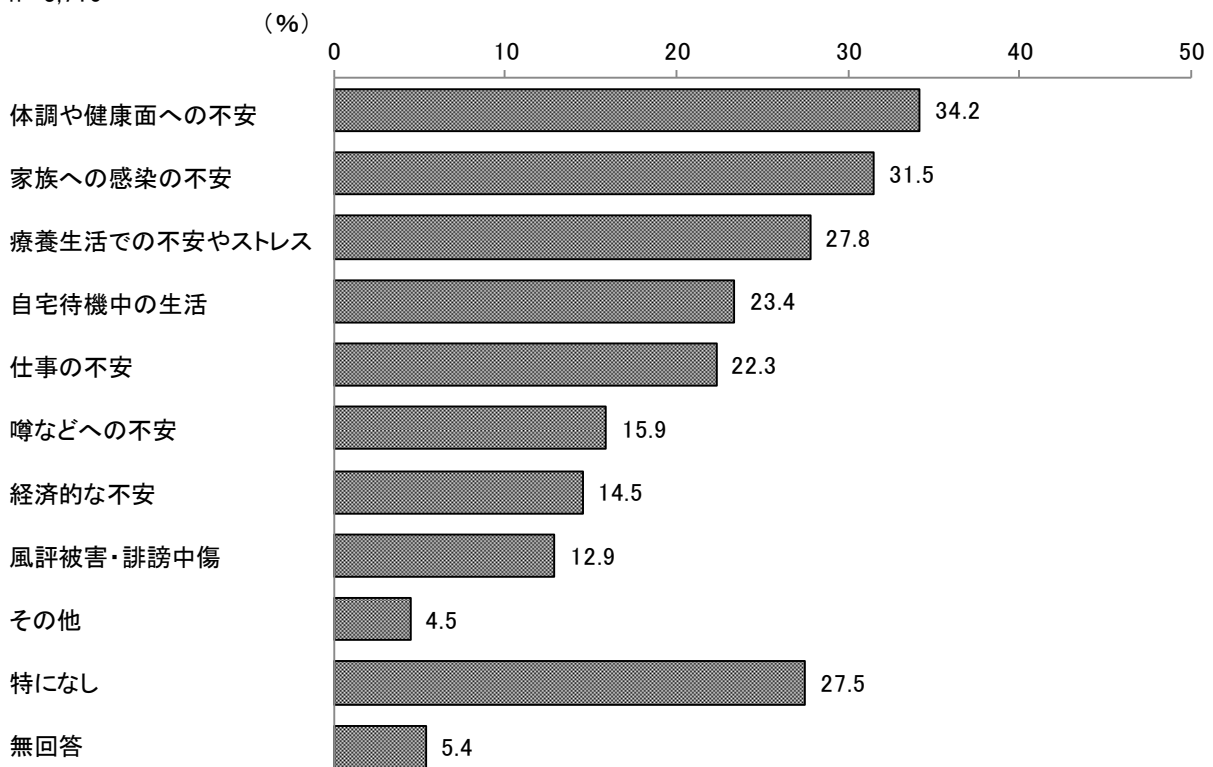
(注) 3か月以上、日常生活に支障がある症状は、発症期間が90日以上であり、「日常生活に支障がある」と回答した症状を性・年齢別で算出した。

3 療養生活中や終了後の生活において困ったこと

(1) 療養生活中や終了後の生活において困ったこと

- 療養生活中や終了後の生活において困ったことは、「体調や健康面への不安」が34.2%で最も高く、次いで「家族への感染の不安」が31.5%、「療養生活での不安やストレス」が27.8%となっている。
- 性別で見ると、「体調や健康面への不安」は女性(39.1%)が男性(29.6%)よりも9.5ポイント高く、「療養生活での不安やストレス」も女性(32.2%)が男性(23.7%)よりも8.5ポイント高くなっている。一方、「特になし」は男性(31.8%)が女性(23.1%)よりも8.7ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「特になし」は10代、70代から90代で4割以上と高くなっている一方、「体調や健康面への不安」、「家族への感染の不安」は30代、40代、50代が他の年代と比較して高くなっている。
- 療養中の症状別で見ると、「特になし」は症状なし(38.5%)が高くなっている一方、「体調や健康面への不安」は軽症以上の症状で4割以上と高くなっている。
- 後遺症の有無別で見ると、「体調や健康面への不安」はあり(46.6%)がなし(23.2%)よりも23.4ポイント高くなっている。「仕事の不安」、「療養生活での不安やストレス」もありがなしよりも10.0ポイント以上高くなっている。

n= 3,710



【性別／年齢別／療養中の症状別／後遺症の有無別】

単位：%

区分		調査数 (件)	体調や健康面への不安	家族への感染の不安	療養生活での不安やストレス	自宅待機中の生活	仕事の不安	噂などへの不安	経済的な不安	風評被害・誹謗中傷	その他	特になし	無回答
性別	男性	1,873	29.6	31.2	23.7	20.8	21.2	13.5	13.3	12.4	3.3	31.8	5.2
	女性	1,820	39.1	32.0	32.2	26.2	23.3	18.5	15.7	13.4	5.7	23.1	5.5
	その他・答えたくない	4	50.0	25.0	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-
年齢別	10歳未満	77	13.0	22.1	24.7	28.6	2.6	19.5	2.6	10.4	7.8	36.4	1.3
	10代	172	13.4	18.6	16.3	14.0	1.7	16.3	2.9	4.7	2.9	48.8	5.2
	20代	668	31.4	30.2	32.9	26.6	25.7	15.3	18.1	12.9	3.3	26.0	4.6
	30代	641	43.1	35.6	36.3	32.0	33.7	18.9	22.3	17.5	3.9	17.8	4.4
	40代	650	38.8	39.8	30.0	28.2	27.8	20.6	16.2	18.2	6.2	20.2	5.8
	50代	637	40.3	35.9	29.5	21.4	26.2	18.5	15.9	14.4	4.9	25.1	3.9
	60代	371	29.9	28.0	18.3	15.9	15.9	8.9	8.9	8.6	6.2	32.9	7.0
	70代	289	27.3	22.5	13.8	12.1	8.0	9.0	5.9	4.8	3.1	41.2	7.6
	80代	129	24.0	22.5	16.3	7.8	0.8	7.0	5.4	6.2	3.1	45.7	8.5
	90代	64	26.6	4.7	25.0	20.3	-	3.1	1.6	1.6	3.1	40.6	12.5
100歳以上	3	66.7	-	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	
療養中の症状別	症状なし	1,407	19.3	27.4	21.3	19.0	17.8	14.1	12.2	11.2	3.6	38.5	4.1
	軽症	1,934	44.3	35.6	33.5	28.1	26.2	18.2	16.3	14.9	4.9	20.5	4.8
	中等症	258	41.9	27.1	27.1	14.0	20.5	10.5	13.6	8.5	5.4	23.3	10.1
	重症	19	52.6	31.6	-	5.3	10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	21.1	5.3
後遺症の有無別	あり	1,786	46.6	33.5	33.4	25.9	28.6	17.6	18.8	15.9	5.4	16.9	8.4
	なし	1,830	23.2	30.4	23.1	21.5	16.8	14.8	10.8	10.4	3.7	37.7	1.1

世田谷区新型コロナウイルス感染症陽性者における後遺症に関する調査 報告書（概要版）

令和3年11月発行

発行：世田谷区

編集：世田谷保健所 地域保健課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-2-2-35

電話 03-5432-2624 FAX 03-5432-3022

広報印刷物登録番号：No. 2022